



# 日乗連ニュース

## ALPA Japan NEWS

www.alpajapan.org

Date 2007.9.4

No. 31 - 02

発行: 日本乗員組合連絡会議・ALPA Japan  
幹事会  
〒144-0043  
東京都大田区羽田5-11-4  
フェニックスビル  
TEL.03-5705-2770  
FAX.03-5705-3274  
E-mail:office30@alpajapan.org

## J0772 便、GUM の南方で戦闘機により TCAS RA が作動！

## 民間機の安全を脅かす軍事行動は認められない！

J0772/08AUG (SYD-NRT) で、FL380 巡航中に戦闘機による TCAS RA の事例が発生しました。当該機長からの報告では状況は以下の通りでした。

- ・ 当日 GUM の南 (ルートにかかるエリア) で大規模な米軍による演習が行われていた。
- ・ 当日のルートは GUM の上空を通過するルートであった。GUM から南 250 マイルのポジション、FL380 にて GUM CTR と交信した。レーダーコンタクト後、北 250 マイルのポジションまでのダイレクトのクリアランスが来た。
- ・ ND 上には前方を横切るトラフィックが数機確認できた。
- ・ GUM の 50 マイルぐらい南にさしかかったとき、右後方・上方から降下し近づいてくるトラフィック (相手機) を確認した。
- ・ 相手機はその後も近づいてきて、TCAS TA に引き続き DES RA が発出された。
- ・ 指示に従い降下していく中、相手機の ND 上の高度は引き続き降下していた。
- ・ 約 400 フィート降下したところで Clear of Conflict となった。
- ・ その直後、今度は左後方・下方にトラフィックが現れ、すぐに CLM RA が発出された。
- ・ 指示に従い上昇後約 FL380 で Clear If Conflict となった。
- ・ 右 (3 時方向) に去っていく戦闘機を視認した。
- ・ GUM CTR からは一連の回避操作が終了し戦闘機の視認を当該機から通報するまでの間一切のトラフィックインフォメーションは無かった。
- ・ 当時の気象状態は雲もなく視界良好であった。

また機長のコメントによれば

- ・ ベルトサインをオフで巡航中だったが乗客、乗員に怪我が無かったのは幸いである。
- ・ TCAS RA に従い降下していく際、相手機の高度表示が下がってくるのを確認したときは衝突の可能性も感じた。
- ・ 状況から判断すると戦闘機が当該機を仮想敵機に見立てて何かしらの行動をとったものと思われる。

との事で、一步間違えれば大惨事にもつながりかねない状況であった事が伺えます。

米軍によるこうした行動は、過去に三沢上空で全日空機も経験しています。機長組合は会社に対し早急な調査を求めました。日乗連は、航空連、安全会議の産別 3 団体を通じて国土交通省・防衛省・外務省への働きかけを行っていきます。

